

評価基準・評価表（その1）

4：目標達成(大いに) 3：かなり満足 2：あまり満足できない 1：まったく満足できない  
 は、アンケート結果の[平均] (a [3.2] b [2.5] c [1.8] d) との総合評価を行う

	本年度の努力事項	取り組み	評価主体	評価基準	4	3	2	1
学 力 の 向 上 に よ る 進 路 保 障	授業力の向上		生徒	授業に満足している生徒が80%以上	80%以上	70%以上	60%以上	60%未満
				授業を理解している生徒が80%以上	80%以上	70%以上	60%以上	60%未満
			教員	授業研究と改善に積極的に取り組んだかどうか	大いに	かなり	あまり	まったく
				授業公開の回数（保護者，管理職の参観等も含む）	4回以上	3回	2回	1回
	すべての生徒の学 力の向上		生徒 教員	朝の学習は学習効果がありましたか。	大いに	かなり	あまり	まったく
			生徒 教員	補習は学習効果がありましたか。	大いに	かなり	あまり	まったく
			生徒 教員 教員	少人数の授業は学習効果がありましたか。	大いに	かなり	あまり	まったく
			教員	学力不振者への指導を行ないましたか。	大いに	かなり	あまり	まったく
			教員	学力・進路に応じた個別指導を行ないましたか。	大いに	かなり	あまり	まったく
			各検定 委員	各級毎にすべての全商主催検定試験の合格率の平均を求める。（ただし、年間複数回の検定は通年で重複者を除いて計算する）	1級	80%	60%	30%
			2級	90%	70%	50%	40%	
			3級	100%	90%	80%	70%	
	進路実績の向上		生徒	第1志望届けは進路指導に役立ちましたか。	大いに	かなり	あまり	まったく
			教員	第1志望届けは進路指導に役立ちましたか。	大いに	かなり	あまり	まったく
教員			学年での成績検討会および教科での成績検討会を実施しましたか。	10回以上	6回以上	3回以上	3回未満	
教員			大学合格者数は目標数を達成したか。 (東大5、京大10、阪大20、神戸30)	100%以上	90%以上	80%以上	80%以下	

(最終結果報告書へ)

評価基準・評価表（その2）

4：目標達成(大いに) 3：かなり満足 2：あまり満足できない 1：まったく満足できない  
 は、アンケート結果の[平均] (a [3.2] b [2.5] c [1.8] d)との総合評価を行う

	本年度の努力事項	取り組み	評価主体	評価基準	4	3	2	1
豊かな人間性を持った生徒の育成	規律ある態度の育成		生徒	1日あたりの登校時遅刻者数	0.3人以内	0.5人以内	0.7人以内	0.7人以上
			生徒	部活動が熱心に行われ、学習との両立もできている。	大いに	かなり	あまり	まったく
			教員	部活動が熱心に行われ、学習との両立もできている。	大いに	かなり	あまり	まったく
			生徒	マナーアップ運動・あいさつ運動はその目的を達成したと思いますか。	大いに	かなり	あまり	まったく
			教員	マナーアップ運動・あいさつ運動はその目的を達成したと思いますか。	大いに	かなり	あまり	まったく
	ボランティア体験の実施		教員	災害ボランティア等への参加者数	30名以上	20名以上	10名以上	10名未満
			教員	学校周辺の清掃活動（クリーンキャンペーン）への参加者数	180名以上	120名以上	70名以上	70名未満
			教員	地域貢献事業の実施回数	10回以上	7回	3回	1回まで
	人権教育の充実		生徒	ネット上の人権侵害問題についての講演会や生き方HRを実施し、人権意識が高まった。	大いに	かなり	あまり	まったく
			教員	ネット上の人権侵害問題についての講演会や生き方HRを実施し、人権意識が高まった。	大いに	かなり	あまり	まったく
			教員	国際交流の行事は、その目的を達成したと思いますか。	大いに	かなり	あまり	まったく
			教員	研修会により、特別支援教育への理解が深まった。	大いに	かなり	あまり	まったく

(最終結果報告書へ)

評価基準・評価表（その3）

4：目標達成(大いに) 3：かなり満足 2：あまり満足できない 1：まったく満足できない  
 は、アンケート結果の[平均] (a [3.2] b [2.5] c [1.8] d)との総合評価を行う

	本年度の努力事項	取り組み	評価主体	評価基準	4	3	2	1
地域に信頼される学校づくり	情報発信の手段と内容の充実		教員	動画を入れるなどホームページを充実させ1日平均のアクセス回数が増えた。	200回以上	150回以上	100回以上	100回未満
			教員	新型インフルエンザの流行に備えた連絡体制を確立できた。	大いに	かなり	あまり	まったく
			教員	携帯メールへの保護者の登録数を100%に近づける。	95%以上	90%以上	85%以上	85%未満
			教員	学年通信・保健だより・図書通信などを定期的に発行、HPにも掲載した。	計20回以上	15回以上	10回以上	10回未満
	教職員の意識の高揚		教員	危機管理ワークショップを実施し、教職員の意識が高まった。	大いに	かなり	あまり	まったく
			教員	学校評価のワークショップや職員研修会により、学校評価システムについて理解できた。	大いに	かなり	あまり	まったく
			教員	教員間で意見を交換する場としてグループウェアが役立っている。	大いに	かなり	あまり	まったく
	地域との連携		生徒	インターンシップは、キャリア教育の推進に成果があった。	大いに	かなり	あまり	まったく
			生徒 教員	保護者を講師とする職業講演会を実施し、生徒の職業教育に役立った。	大いに	かなり	あまり	まったく
			教員	地元企業と連携し商品開発や地域の課題の調査研究活動は成果があった。	大いに	かなり	あまり	まったく

(最終結果報告書へ)